

## 学習内容報告書 2

学校名	本部町立瀬底小学校
授業者	玉城陽一朗（5年担任）、宮城光（6年担任）、津嘉山朝翔（4年担任）他

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「サンゴの海を守るために私たちができることは？」

#### 1-2. 学年

4・5・6年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、学級活動

#### 1-4. 単元の概要

5月に実施した単元1「豊かな体験を通して感性を磨くとともに瀬底島の現状を知る」における体験学習やサンゴ学習を通して様々な気づきが生まれた。本単元では、実際の体験活動からサンゴの海を守るために自分たちができることを考える学習へと発展した。

今年度当初の計画では、この単元は5・6年生を対象に行う予定であった。瀬底の磯歩き・生き物観察を通して、4年生からこの学習をしたいとの申し出があり、学習に取り組んでいる。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

昨年度の海洋学習を終え、6年生は瀬底島の美しさを感じ、誇りに思う気持ちが芽生えている。今年度も4・5年生を加え、さらにサンゴ学習を進めて行くなかで、海が直面する問題等を知ることにより、「守りたい」という気持ちが生まれ、自ら考え行動できる児童を育むことを目指して本単元を設定した。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ① 海に親しむ 《学びに向かう力・人間性等》
- ② 海を知る 《知識及び技能》
- ③ 海を守る 《学びに向かう力・人間性等》
- ④ 海について発信する 《思考力・判断力・表現力等》

1-7. 単元の展開 (5年生 全6時間 6年生 全8時間 ) 5・6年生共通の取り組み

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>☆単元1で実施したシュノーケリング体験等を通して気づき考えたことをまとめるとともに、自分たちにできることを話し合い行動する。</p> <p>◎「自然を守る力」(道徳との関連)</p> <p>◎自分たちにできることを話し合う (サンゴのホームページ作成, ビーチクリーン活動)</p>	<p>◎道徳の教材内容と関連づけて、瀬底の自然について自分事として考える。</p> <p>◎自分たちにできることを話し合う 【学級活動(1)】②知る③守る</p>
1	<p>◎サンゴ学習 サンゴ観察 ・学校近くの漁港に行き、実際のサンゴの観察の仕方を学び、自分の決めたサンゴの定点観察する。</p>	<p>◎サンゴ学習(観察)【総合(1)】①親しむ②知る 外部連携: 沖縄美ら島財団 野中正法</p>
2	<p>◎瀬底ビーチのクリーン活動(3~6年生) 児童たちからのビーチクリーン活動を行いたいとの声があがり、地元のギッチマ海岸へ行き、クリーン活動を行った。クリーン活動後にゴミを学校へ持ち帰り、分別作業を行う。</p>	<p>◎ギッチマ海岸のクリーン活動 【総合(2)】③守る ◎ゴミを分別する際の安全指導を行う。</p>
2	<p>◎サンゴ講話・サンゴ苗付け体験(6年) 6年生からサンゴ苗付け体験を取り入れたいとの申し出があり、修学旅行の計画に組み込む。</p>	<p>◎サンゴ講話・サンゴ苗付け体験 【行事(2)】①親しむ③守る 外部連携: 名護ツアーセンター</p>
2	<p>◎サンゴ見学(6年) ・サンゴの生息環境について学習する。</p> <p>◎サンゴ学習(5年) サンゴの基礎知識を学ぶ</p> <p>◎サンゴの研究施設見学(5年) ・施設見学。 ・どんな研究をしているのか。</p>	<p>◎サンゴの飼育法や飼育環境について 【総合(2)】①親しむ②知る 外部連携: 沖縄美ら島財団 野中正法</p> <p>◎サンゴ学習(観察)【総合(1)】①親しむ②知る 外部連携: 沖縄美ら島財団 野中正法</p> <p>◎サンゴ学習【総合(1)】①親しむ②知る 外部連携: 琉球大学熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設 酒井一彦 高橋俊一</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- 1 地元の美しい海や砂浜を守る。
- 2 清掃活動を通じて、参加する児童の意識や保護者・地域にゴミ問題を啓発する。
- 3 安全に気を付けて活動する。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>☆実施したシュノーケリング体験等を通して、海洋ゴミがサンゴに付着している様子を目撃し、6年生児童からビーチクリーン活動を計画している。</p> <p>◎ビーチクリーン活動（3～6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で集会（安全面の注意）</li> <li>・ギッチマ海岸へ移動</li> <li>・ゴミ収集後、学校でのゴミ分別</li> </ul>   	<p>◎学校近辺のギッチマ海岸へ徒歩移動し、クリーン活動を開始する。</p> <p>◎活動後、ギッチマ海岸から学校へ戻り、3年6年、4年5年の2グループに分かれてゴミの分別を行う。</p> 

### 3. 今回の活動の自己評価

単元1で実施した豊かな体験学習を経て、6年児童からビーチクリーン活動を行いたい、との声があがった。学級会等で話し合いを持ち、計画を立てた。その計画を担任会等で協議結果、5年生をはじめとして4年生、3年生まで参加希望がでた。これまでの活動から中学年の児童にも瀬底のきれいな海を守りたいとの気持ちが高まっているのを感じている。クリーン活動の最後に学校にゴミを持ち込んだ際も、高学年が低学年に分別を指導しながら活動する姿が見られた。児童からは「外国の表記のゴミも多い」「またゴミが集まってくるのかな」などの感想も出ていた。観光地化されてきた瀬底島が抱えている問題を児童が考えるきっかけとなった。6年生を中心に「自分たちになにができるか」について話し合いがもたれている。そこから、ビーチクリーン活動以外にもホームページを作成して、自分たちが考えたことや知ったことを発信していこうという意見があがっている。

### 4. 今後の課題

ビーチクリーン活動としては瀬底島にあるヒルトンホテルからも一緒に活動できないか、という打診を受けている。しかし、活動時間や時期などで学校活動と合わず今年度は断念した。このような活動を継続するとともに地域や保護者も巻き込んだ活動に繋げていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にございませぬ。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校

5-1. 単元の展開（38時間）4年生の取り組み

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	☆3年生から始まったウミガメ学習、瀬底の磯歩き・生き物観察を通して気づき考えたことをまとめるとともに、自分たちにできることを話し合い行動する。 ◎自分たちにできることを話し合う	◎自分たちにできることを話し合う 【学級活動(1)】②知る③守る
10	◎リサイクルプランターづくり ビーチや海岸に打ち上げられた漁業ブイを利用してリサイクルプランターを作り、ペイントする。	◎プランターの作り方の説明 ◎プランターづくり【総合(5)、図工(5)】 ③守る④発信する
8	◎完成したリサイクルプランターを地域に寄贈し想いを伝える	◎リサイクルプランターへ自分たちが込めた想いを地域の方々に伝えよう ・どのように伝えるか【総合(6)、国語(2)】 ③守る④発信する
2	◎瀬底ビーチのクリーン活動（3～6年生） 児童たちからのビーチクリーン活動を行いたいとの声があがり、地元のギッチマ海岸へ行き、クリーン活動を行った。クリーン活動後にゴミを学校へ持ち帰り、分別作業を行う。	◎ギッチマ海岸のクリーン活動 【総合(2)】③守る ◎ゴミを分別する際の安全指導を行う。
16	◎これまで取り組んできたSDGsについて、自分たちでセリフを考え、劇をつくる。 ・各パートごとに担当をつくり、シナリオ作りから児童主体で取り組む。 ◎サンゴ学習発表会 ・相手意識を持って発表する	◎SDGsについて劇をつくる。 【総合(10)、国語(5)】  ◎サンゴ学習発表会 【総合(1)】④発信する
1	◎北海道七重小学校との交流会 ・リサイクルプランターづくり。SDGs劇等の取り組みを発表する。	◎北海道七重小学校とのオンライン交流会 【総合(1)】④発信する 外部連携：七重小学校



## 6. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 6-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 6-2. 本時の目標

SDGs の学習を通して学んできたことや自分の想いを相手にわかりやすく発表する。

### 6-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>◎学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習してきた海洋ゴミや SDGs についての知識や想いを相手にしっかり伝わるように工夫して発表する。</li> </ul>   <p>◎参加者からの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 年生が自分たちで学習しながら、瀬底の海を守りたい気持ちが表現されていた。</li> </ul>	<p>◎学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 年生の児童が考えたシナリオをもとに、劇化し、瀬底の環境を守る想いを伝える。</li> </ul>  <p>評価：④発信する《思考力・判断力・表現力》</p>

#### 7. 今回の活動の自己評価

本校では3年生からウミガメ学習が始まり、4年生はその2年目にあたる。本来は海洋教育に本格的に取り組むのは5年生からであるが、瀬底の磯歩き、グラスカヌー体験等の体験学習を通して、瀬底の海の豊かさに気づき、また6年児童の発案から始まったビーチクリーン活動を経て、瀬底の海岸にある漂着ゴミの多さに気づくことができた。また、昨年度から始まった海洋学習に取り組む高学年の児童の姿を見たり、発表を聞くこと等を通し、中学年の児童にも瀬底のきれいな海は、守っていかなければいけないものであるという気持ちが高まっているのを感じている。

#### 8. 今後の課題

次年度も海洋学習に取り組むにあたり、4年生の総合学習はウミガメ学習を中心とし、今年度同様の活動を促すことはせず、児童の自主的な想いを大切に学習活動を進めていきたい。

#### 9. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にございません。